

関西支部の活動

2009年4月21日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
関西支部

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

関西支部の活動状況

- ◆ 現在、MLに約65名が所属
- ◆ メンバーの所在：大阪、兵庫、京都、福井など
- ◆ 各種開催
 - 1ヶ月に1度、支部会と意見交換会・勉強会を継続開催



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

意見交換会・勉強会の報告（１）

◆ 1ヶ月に1度、 2～3時間程度を継続実施。

- 2008.4.16 出席17名 (会場)京セラ
- .5.21 22名 住友電工
- .6.18 25名 清水建設
- .7.16 30名 建設技術研究所
- .8.27 23名 建設技術研究所
- .9.17 22名 I I Jテクノロジー
- .10.15 20名 グリコ栄養食品
- .11.19 26名 清水建設
- .12.17 24名 I I Jテクノロジー
- 2009.1.21 24名 T I S
- .2.18 22名 大林組
- .3.18 22名 竹中工務店

※意見交換会の前に30分程度の関西支部会を開催

意見交換会・勉強会の報告（２）

◆意見交換したテーマ：４～６月

- ４月：(1)新型インフルエンザに関して
講師：UMNファーマ(バイオベンチャー)
(2)なぜBCPをつくらないといけないか(法的根拠)
- ５月：(1)中国四川地震の被害状況と日系企業の被災
- ６月：(1)地震リスクについて
 - ・ リソースの脆弱性評価
 - ・ 中国四川地震
 - ・ 歴史地震
 - ・ 岩手・宮城内陸地震速報(2)新型インフルエンザ研究会報告

意見交換会の報告（3）

◆意見交換したテーマ：7～10月

- 7月：(1)中国四川地震現地調査速報
(2)新型インフルエンザの発生と対策
講師：京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター長
- 8月：(1)海外での主な災害について
(2)海外拠点でのリスク(地震・テロ)発生への対応
(3)中国四川地震報告
- 9月：(1)ITディザスタリカバリの最新情報
- 10月：(1)フードディフェンスに関して
(2)AED使用方法について
(3)危機管理産業展2008報告

意見交換会・勉強会の報告（４）

◆意見交換したテーマ：１１月～３月

- 11月：(1)ビジネスインパクト分析と事業継続戦略の立案に関する検討イメージ(BIA研究会)
(2)近隣の事故への対応
- 12月：(1)2008年 私が最も関心を持ったBCPテーマ
- 1月：(1)DR I Iセミナー紹介
(2)「第9回比較防災学ワークショップ」
- 2月：(1)和歌山セミナーについて
「事業継続計画（BCP）策定支援セミナー」
- 3月：(1)非常時（災害や事故等）における企業の情報発信について
講師：人と防災未来センター調査研究員

BCP基礎研修会 講演報告

◆ 「平成20年度 第2回BCP基礎研修会」

- 日時：平成20年11月14日
- 会場：関西広域機構会議室
- 主催：関西広域機構
- 講義(1)：「事業継続計画(BCP)の必要性について」
 - ・ 萩原正五郎（BCAO関西支部）
- 講義(2)：「中小企業におけるBCPの策定事例について」
 - ・ 加瀬一彦（BCAO関西支部）
- 来場者数：20人以上

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

徳島県フォーラム 講演報告

◆ 「企業防災ブラッシュアップフォーラム」

- 日時：平成20年11月19日
- 会場：徳島グランヴィリオホテル 1Fルビー
- 主催：徳島県
- 基調講演：「大災害時における企業の危機管理」
 - ・ 遠藤勝裕氏(元日銀)
- パネルディスカッション：「BCPをいかに策定し改善していくか」
 - ・ 中野晋氏(徳島大学)
 - ・ 遠藤勝裕氏(元日銀)
 - ・ 萩原正五郎(BCAO 関西支部) 等
- 来場者数：170人以上



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。



業継続計画 (BCP)
策定支援セミナー

事業継続計画 (BCP) 策定のポイント解説
— 資料 —
平成21年2月24日
NPO法人 事業継続推進機構 和歌山支部



永井 八名 (有山良品株式会社)

▶ 参加者：70名を超える参加者

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

和歌山県セミナー 講演報告



弱点知るきっかけに

BCPの策定支援セミナー

県

県はこのほど、企業防災力を高める事業継続計画（BCP）の策定支援セミナーを和歌山市内で開いた。NPO事業継続推進機構の小山晋平氏は「BCP策定を企業の弱点を知るきっかけとし、改善に取り組んで」と呼び掛けた。

近い将来、東南海・南海地震の発生が予想される中、BCPは事業損失を最小限にとどめるのももちろん、顧客信用力や従業員の雇用維持といった企業価値向上につながるものとして注目されている。セミナーにはさまざまな業種の経営者ら約70人が参加した。

事前アンケートでは、半数の事業所がBCPを十分理解していなかった。一方で、半数近くが供給側の社会責任「防災力向上」などを理由に、策定を検討している。

小山氏は「BCP策定は経営者の経営者らを対象にした事業継続計画策定の支援セミナー（和歌山市で）」

営的な視点も必要で、トップの理解が大事」と説明。「アンケートやセミナー出席状況からも県内企業は認識が高い」と評価した。

策定についてアンケートでは「手順が分からない」「必要な人材がない」「相談できる人がいない」など不安の声が多かった。小山氏は「コンサルには相談程度で丸投げせず、自分たちのこと意識して取り組むこと。マニュアルを活用すればハ

首長日程

14日
▽田辺市長 市茶華道連盟60周年記念お茶とお花の会色テラカット（午前9時半、紀南文化会館）
▽すさみ町長 町半島中山間地域協議会研修会（午後2時、総合センター）

田辺市行事

14日
おはなしタイム（午前10時半～11時 市立図書館2階）
▽分室おはなし会（午前10時半～11時 市立図書館龍神分室）
▽料理教室（午後6時～9時 わかしお）

紀伊民報
3月14日号

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
関西支部

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)